

次期広域最終処分場用地選定に係る 説明会

説明会の流れ

1. ごあいさつ
2. 本日の説明会の目的
3. 最終処分場とは
4. 現最終処分場の状況
5. 三次候補地選定までの経緯
6. 最終候補地の選定方法
7. 今後のスケジュールについて
8. 参考) 地域振興に向けて
9. 質疑応答

1. ごあいさつ

「日向東臼杵広域連合」は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の5市町村にて構成する組織です。

この日向東臼杵広域連合では、5市町村がそれぞれで行うよりも、共同で行った方がより効率的と考えられる3つの業務を行っています。

日向市
門川町
美郷町
諸塚村
椎葉村

負担金

職員の
派遣

日向東臼杵広域連合

①一般廃棄物最終処分場

②火葬場(東郷霊苑)

③ごみ処理施設(清掃センター)



これらの設置、管理、運営に関する業務を行っています。

2. 本日の説明会の目的

- 現在の最終処分場が間もなく満杯となることから、次期最終処分場の用地選定を行っています。
- 協議・検討を重ねて、現在三次候補地として3箇所が選定されており、今後、最終候補地の1箇所を絞り込む予定です。
- 本日は、以下のとおり「お伝えしたいポイント」と「お聞きしたいこと」があります。

お伝えしたいポイント

① 最終処分場の必要性

② 三次候補地選定までの経緯

③ 今後のスケジュール

お聞きしたいこと

① 候補地の状況

② 最終候補地の選定方法

3. 最終処分場とは

●私たちの生活を守る大切な施設です

【埋め立てるごみの発生】

皆様の家庭から出されたごみは、清掃センターで燃やされたり、ひゅうがりサイクルセンターで細かく砕くような処理を行っています。その中で再利用できるものは可能な限りリサイクルしていますが、燃やした後の灰や細かく砕かれたガラスのようなものはどうしてもリサイクルできません。このような処理後のもの（埋立物）は最終処分場で埋め立てられます。

ひゅうがりサイクルセンターは日向市幡浦地区のみなさん、清掃センター及び最終処分場は日向市富高地区のみなさんのご理解、ご協力により建設されています。

3. 最終処分場とは

【ごみ処理施設「清掃センター」】

5市町村の燃やせるごみの焼却を行う施設で、24時間完全連続運転や排ガス高度処理施設など高い公害防止機能を備えています。

所在地	日向市大字富高2192番地
供用開始	平成3年4月
処理方式	全連続燃焼式焼却炉（ストーカ式）
処理能力	160 t / 日（80 t / 日 × 2 炉）
運営体制	直営（受入・運転管理部門は民間委託）



【ひゅうがリサイクルセンター】

燃やさないごみや粗大ごみの中から再生利用可能なものを回収し、資源のリサイクルやごみの減量等を行っています。

所在地	日向市竹島町 1 番地86
供用開始	平成19年4月
運営体制	民間委託
取扱廃棄物	燃やせないごみ、空き瓶、木くず等



3. 最終処分場とは

●何が埋立処分されているか

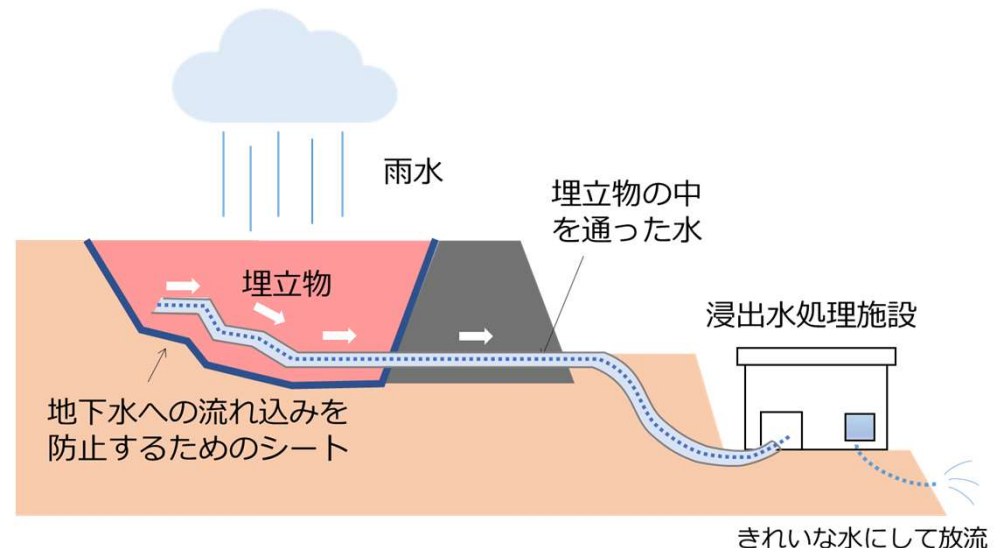
日常生活から出た燃やせるごみを焼却した後の灰や、燃やせないごみのうち再利用できなかったガラスや茶わん、土などを埋め立てます。

●最終処分場はどのような仕組みになっているか

(オープン型最終処分場の場合)

埋立物の上に降った雨が河川や地下水に流れ込まないように、管を張り巡らせながら集めた後に、きれいな水になるまで処理を行います。

また、埋立後に土を被せるなど、埋立物が周囲に飛び散ることや、においなどの発生に十分注意し、丁寧な埋立作業を行っています。



日向市最終処分場と河川の水質検査結果の比較

項目 (単位)	日向市最終処分場		鳴子川	耳川水系	
	原水	放流水		若宮・和田	花水流
pH	7.5	7.4	7.3~8.1	7.7	7.6
BOD (mg/l)	13	1.3	0.9	1.7	1.4
SS (mg/l)	4	1未満	3	1	2
大腸菌群数	660	不検出	32,000	790	130

BOD 水中の有機物などを分解する際に微生物が消費する酸素量から汚濁度を示す

SS 水中に浮遊している物質の量

大腸菌群数 放流水の単位は個/mg、河川の単位はMPN/100ml

日向市最終処分場：令和2年度日向市水質検査結果より

鳴子川：令和3年度宮崎県公共用水域水質測定結果より

耳川水系：令和2年度日向市の環境事情報告書より

4. 現最終処分場の状況

●日向市一般廃棄物最終処分場の概要

【所在地】：日向市大字富高1440番地

【埋立開始】：平成12年4月(第4期)

【埋立面積】：12,700m²

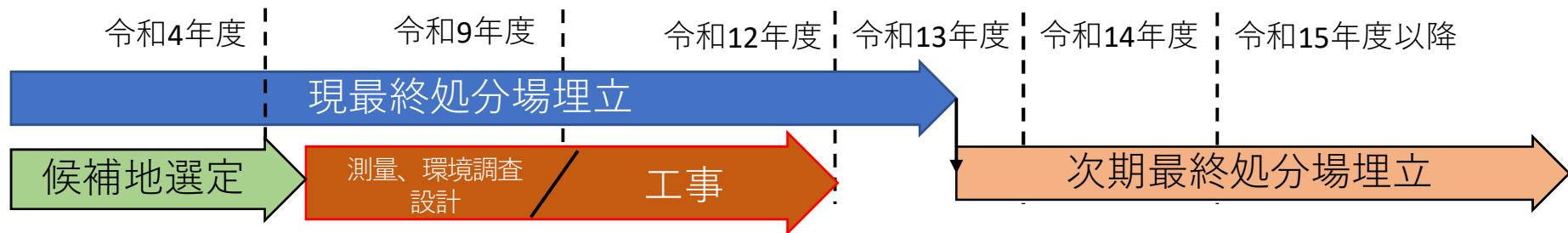
【埋立容量】：127,000m³

【埋立終了】：令和13年度内終了予定

【残余容量】：約45,000m³(70%程度が埋立済み)



●現最終処分場の埋立終了と次期最終処分場



令和13年度には現最終処分場が満杯になると想定されるため、それまでに次期最終処分場を整備し、埋立を継続する必要があります。

5. 三次候補地選定までの経緯①

● 候補地選定の基本的な考え方

- 日向東臼杵広域連合では、現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場の埋立終了となる時期が迫っていることを踏まえ、次期最終処分場の候補地選定を行っています。

● 選定にあたっての前提条件

- ① 埋立容量5.7万m³以上、敷地面積3ha以上を確保できる用地を選定します
 - 最新の実績値を用いて、ごみ排出原単位及び人口の予測から将来のごみ排出量の推計結果に基づき設定しました。
- ② 広域連合清掃センターから片道50kmを超える範囲は除きます
 - 廃棄物の円滑な運搬を行うことができる限度が50kmと想定しています。椎葉村全域と美郷町及び諸塚村の一部は広域連合から50km以上となり、選定の対象外としました。
- ③ 日向市は対象外とします
 - 広域連合構成市町村間の過去の協議において、次期最終処分場は現在最終処分場を設置している、日向市以外に建設することが決まっています。

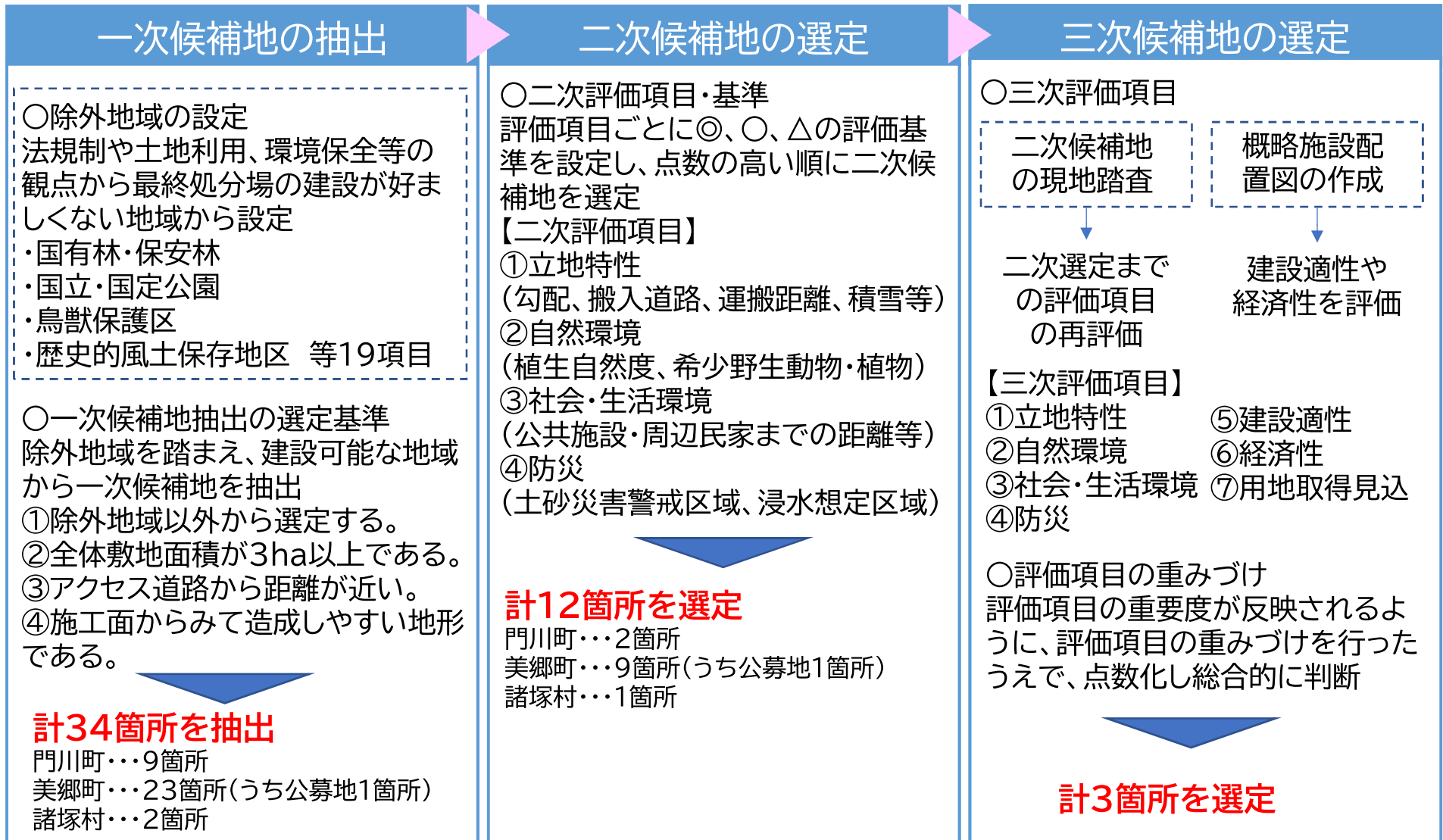
5. 三次候補地選定までの経緯②

●最終処分場の建設を行わない地域の設定



5. 三次候補地選定までの経緯③

● 三次候補地選定までの流れ

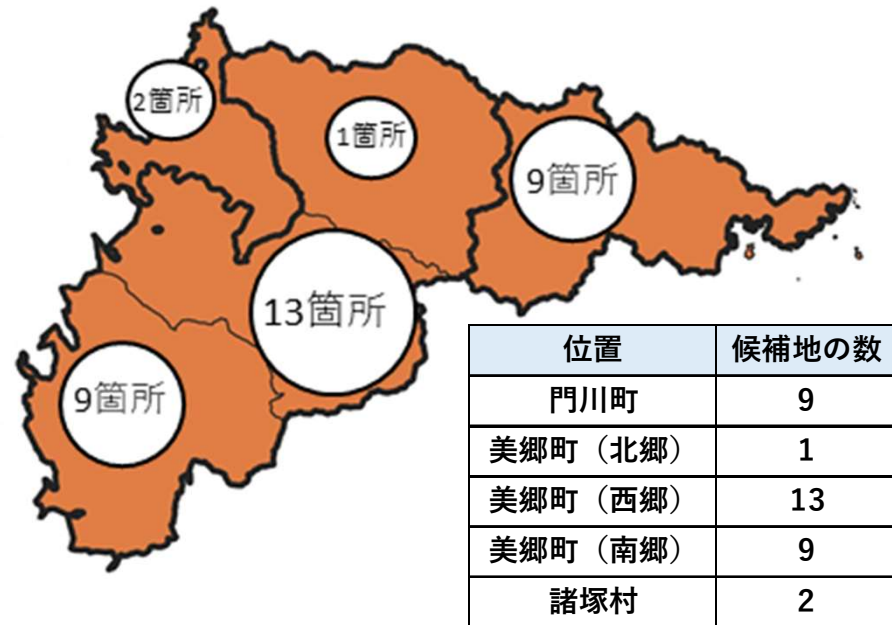


5. 三次候補地選定までの経緯④

●一次候補地（34箇所）の抽出

農用区域や国有林といった最終処分場の建設が不可能、または困難な地域を除き、以下の4つの条件を満たす土地を地形図等を用いて、34箇所抽出しました。

- 1) 除外地域以外である
- 2) 最終処分場の建設が可能な3ha以上の面積がある
- 2) 道路へアクセスしやすい
- 3) 施工面から見て造成がしやすい



〈除外地域〉

- ・ 農用区域、国有林、保安林、国有公園、国定公園、県立公園、都市公園
自然環境保全地区、県緑地環境保全地域、鳥獣保護区、保存樹・保護樹林
生息地等保護区、歴史的風土保存地区、歴史的風土特別保存地区、
伝統的建造物群保存地区、重要文化的景観、史跡名勝天然記念物、
埋蔵文化財包蔵地、活断層から300m以内の範囲、

5. 三次候補地選定までの経緯⑤

●二次候補地（12箇所）の選定

立地特性、自然環境、社会・生活環境、防災の観点から評価項目ごとに◎～△の3段階で評価基準を設定し、一次候補地34箇所それぞれを評価しました。

その結果、一次候補地の中で評価が高かった12箇所を二次候補地に選定しました。

位置	候補地の数
門川町大字門川尾未	1
門川町大字川内	1
美郷町西郷田代	5
美郷町西郷立石	1
美郷町南郷水清谷	3
諸塚村大字家代	1



分類	評価項目
立地特性	地形（谷筋・斜面勾配）、搬入道路、運搬距離、積雪
自然環境	植生自然度、希少野生動物・植物
社会・生活環境	土地利用状況、農業振興地域、公共施設、周辺民家等、水道水源
防災	土砂災害警戒区域等、浸水想定区域

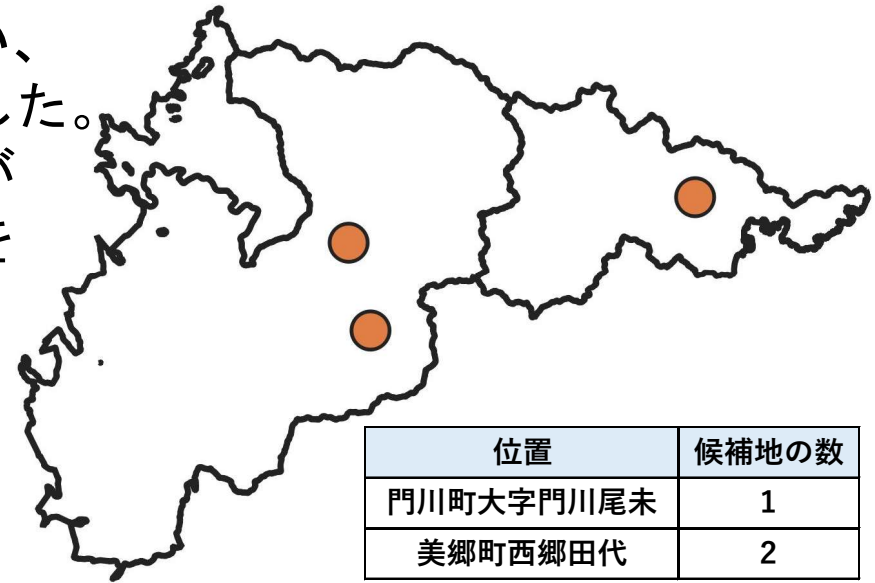
5. 三次候補地選定までの経緯⑥

●三次候補地（3箇所）の選定

現地調査と概略施設配置図の作成を行い、評価項目について評価・点数化を行いました。

特に重要視する項目について、重要度が反映されるように、評価項目の重みづけを行いました。

その結果、二次候補地の中で評価が高かった3箇所を三次候補地に選定しました。

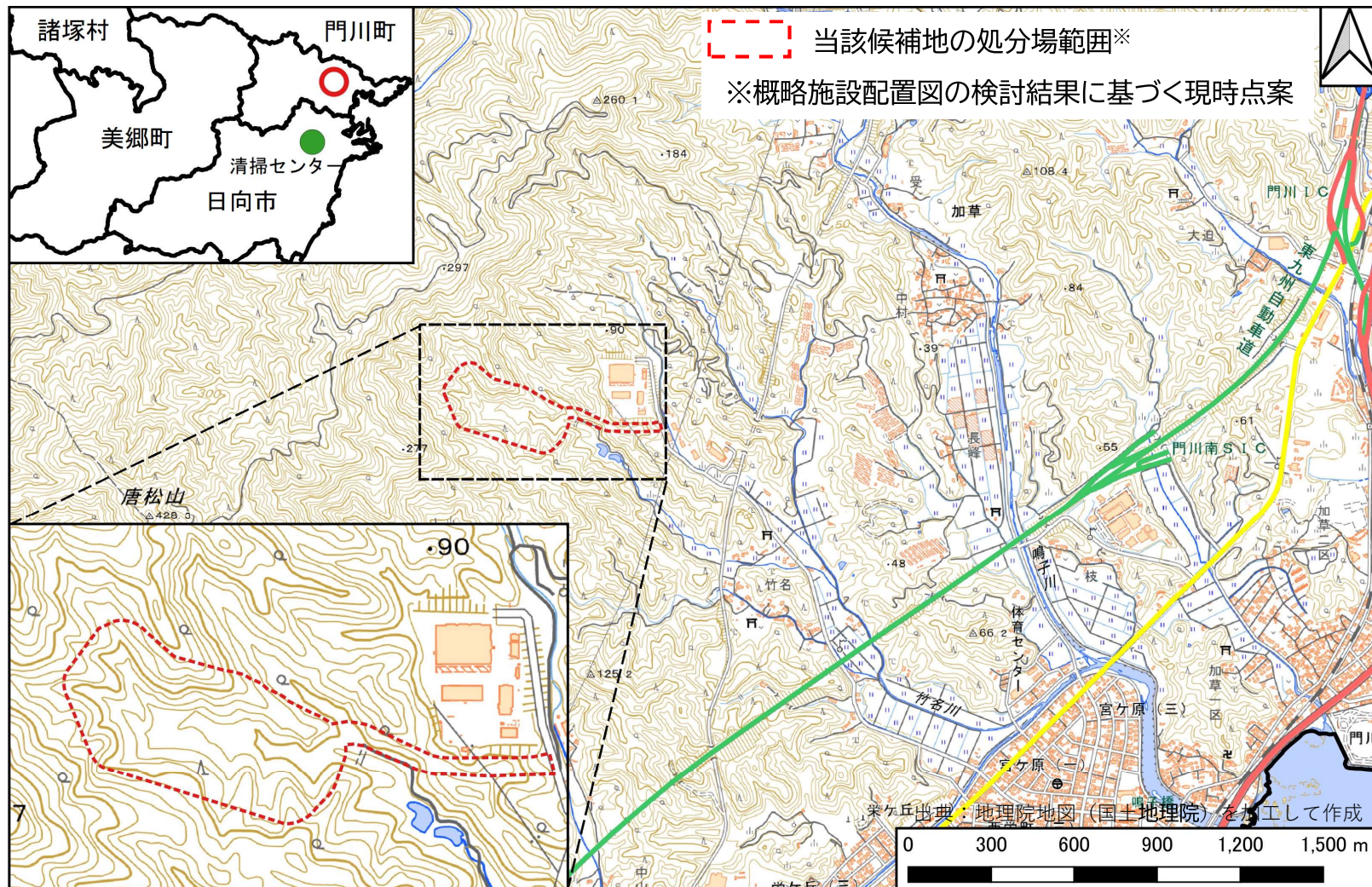


分類	評価項目 ※特に重要視した項目
立地特性	運搬距離、積雪
自然環境	植生自然度、希少野生動物・植物
社会・生活環境	土地利用状況、農業振興地域、 公共施設 、 周辺民家等 、 水道水源
防災	土砂災害警戒区域等、浸水想定区域
建設適性	造成の難易度 、 地質 、搬入道路、幹線道路、施工性、埋立容量の確保
経済性	概算工事費 、用地取得費、事業費増リスク
用地取得の見込み	住民票で地権者を確認できない等の課題を整理

5. 三次候補地選定までの経緯⑦

●三次候補地の選定結果（候補地③ 門川町門川尾末）

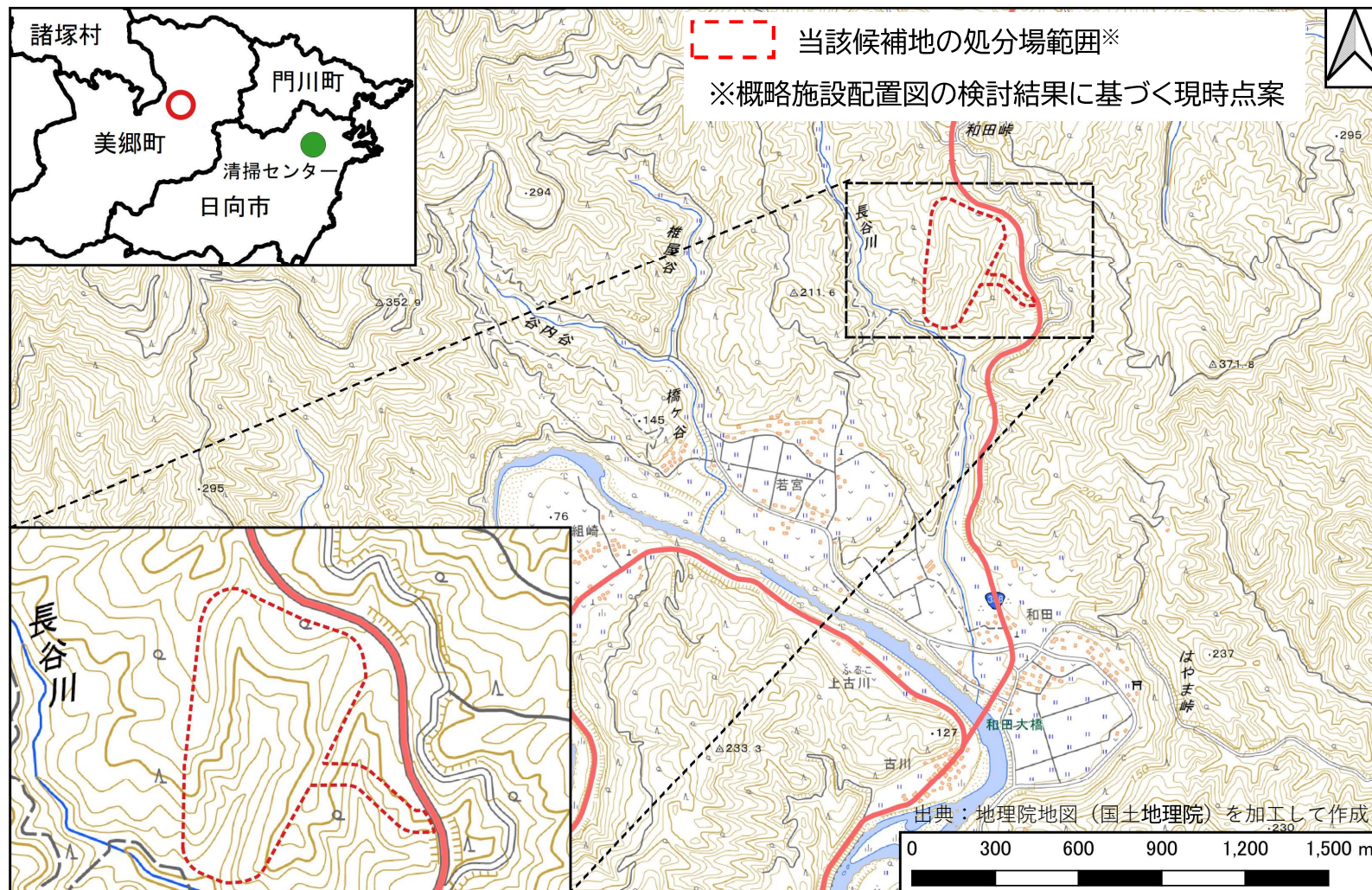
地形勾配が緩く、造成しやすい地形であり、広域連合清掃センターからの距離も近く、周辺民家や公共施設から遠距離にあることから三次候補地として選定されました。



5. 三次候補地選定までの経緯⑨

●三次候補地の選定結果（候補地⑫ 美郷町西郷田代）

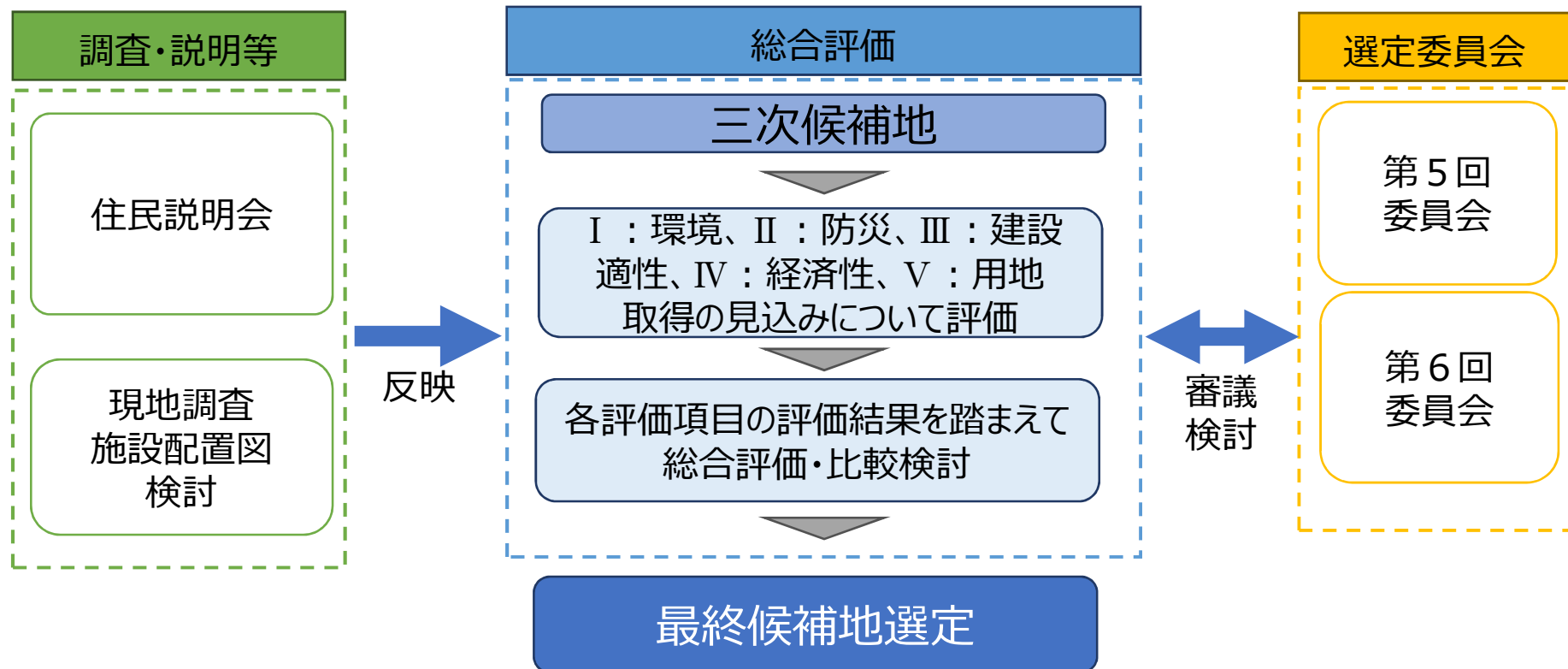
地質的課題も少なく造成しやすい地形であり、周辺民家や公共施設から遠距離にあることから三次候補地として選定されました。



6. 最終候補地の選定方法

●最終候補地選定の流れ

- 最終候補地は、三次候補地3箇所に対して「総合評価」を行い1箇所を選定します。
- 「総合評価」における評価項目を設定する過程から、地域住民の皆様より得られた意見を集約し、評価項目へ適宜反映します。
- 現地調査及び施設配置図の検討結果に基づき、詳細な評価を行い、選定委員会において審議検討を重ねながら最終候補地を選定します。



6. 最終候補地の選定方法

● 総合評価の評価内容（1/2）

- ①環境：最終処分場の建設に伴う周辺環境の影響を評価します。
- ②防災：自然災害による最終処分場への影響を評価します。

項目		評価内容
①環境	周辺状況及び環境影響	<ul style="list-style-type: none">• 最終処分場の存在や廃棄物運搬車両の通行による砂ぼこり等の大気の状況、騒音、振動、悪臭を評価します。• 道路や民家からの最終処分場の見え方（景観）を評価します。• 廃棄物運搬車両の通行による道路の渋滞や二酸化炭素の排出量を評価します。• 最終処分場の建設による自然環境への影響を評価します。
	水	<ul style="list-style-type: none">• 浸出水処理水が河川水質に与える影響を評価します。• 地下水や下流の水道水源に与える影響を評価します。
②防災	自然災害による影響	<ul style="list-style-type: none">• 自然災害による最終処分場の損壊の可能性や発災時における交通網の状況等を確認します。

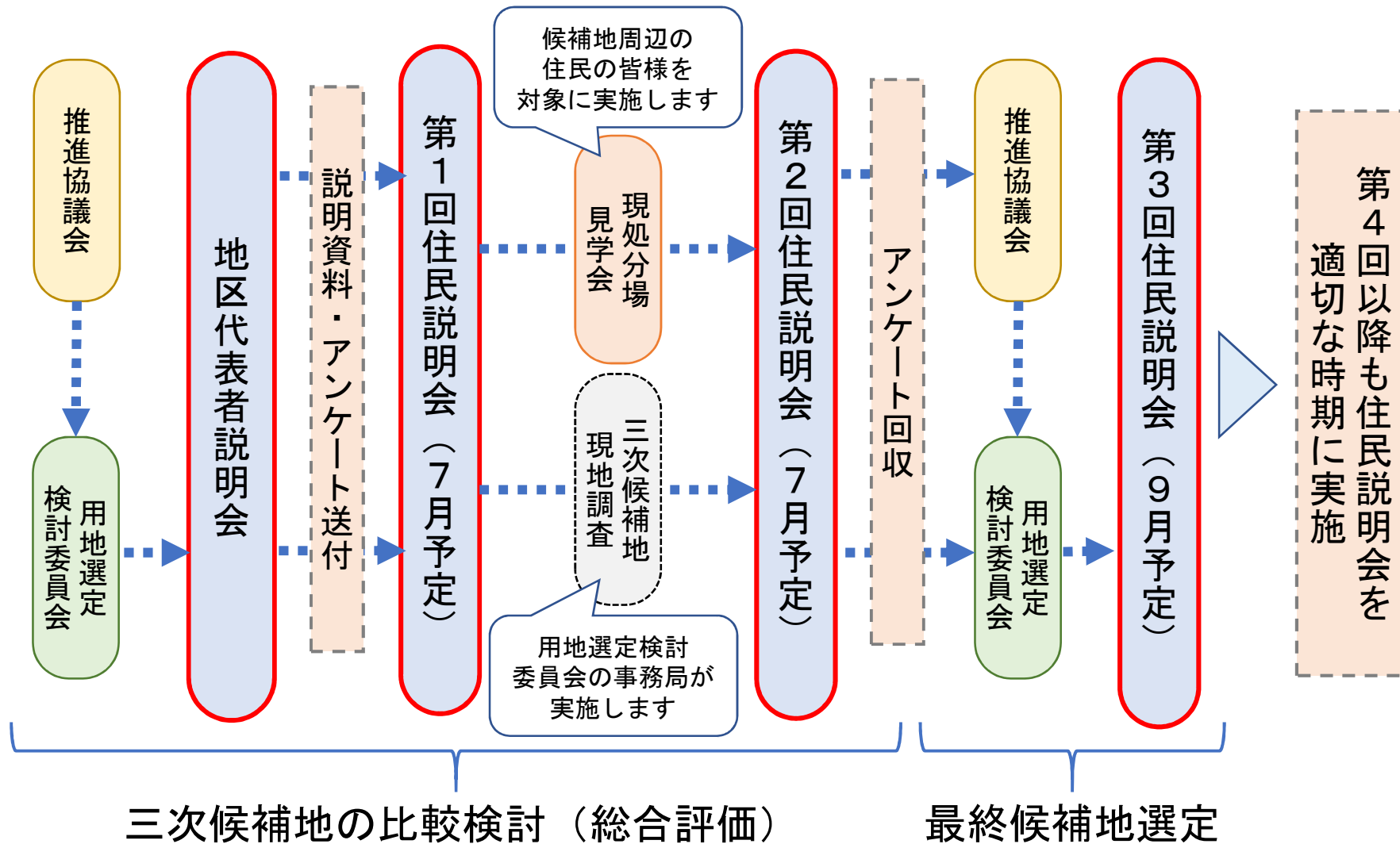
6. 最終候補地の選定方法

● 総合評価の評価内容 (2/2)

- ③建設適性：最終処分場施設の工事のしやすさを評価します。
- ④経済性：最終処分場の建設等に伴う費用を評価します。
- ⑤用地取得の見込み：最終処分場整備に関する意見やアンケート結果等から評価します。

項目		評価内容
③建設適性	造成の難易度等	<ul style="list-style-type: none">• 施設配置図の検討により、以下の項目について工事のしやすさ等を確認します。<ol style="list-style-type: none">1)最終処分場の形状の作りやすさ2)土砂崩れの原因となるような地層の存在3)最終処分場へ進入する道路4)工事車両や重機の作業場所5)埋立容量が確実に確保できるか
④経済性	事業費	<ul style="list-style-type: none">• 概算工事費• 調査費• 維持管理費
⑤用地取得の見込み		<ul style="list-style-type: none">• 地域住民の皆様から頂いたご意見やアンケート結果等を整理します。

7. 今後のスケジュールについて



8. 参考) 地域振興に向けて

全国的に最終処分場を建設する際には、地域振興の一環として建設地周辺の環境整備や処分場の跡地利用の検討などを行っております。

この地域振興策では、地域住民の皆様との協議により、道路整備や公民館の改修、閉鎖後の多目的グラウンド整備などの事例があります。



多目的グラウンドの利用



憩いの場の整備

出典) 鹿島建設株式会社ホームページ

9. 質疑応答

お聞きしたいこと

① 候補地の状況

三次候補地における周辺状況や懸念事項等があればお聞かせください。

② 最終候補地の選定方法

最終候補地の選定の流れや評価項目等についてご意見があればお聞かせください。

地域の皆様のご理解をよろしくお願いいたします

問い合わせ先

※該当する担当課を記載

日向東臼杵広域連合 業務第1係

〇〇町 〇〇課

電話：0982-53-3401

電話：

ファックス：0982-52-7889

ファックス：

日向東臼杵広域連合ホームページのお問い合わせフォームからも
ご意見をお送りいただけます

アクセス方法 [その①](#)

携帯、スマートフォンから
下のQRコードを読み取って
アクセス



アクセス方法 [その②](#)

下記のURLを入力して
アクセス

<http://hyuga-kouiki.jp/fmb.html>

上記お問い合わせページでは日向東臼杵広域連合次期広域最終処分場用地
選定検討委員会の資料および会議録も公表しています。ぜひご覧ください。